風と心

発行　岩手県立胆沢病院
編集　広報委員会

〒023-0864
岩手県奥州市水沢字龍ケ馬場61
TEL　0197-24-4121
FAX　0197-24-8194



地域医療福祉連携室長就任のご挨拶

地域医療福祉連携室長兼地域医療科長　野崎 哲司

このたび、胆沢病院地域医療福祉連携室長に就任した野崎哲司です。

日頃より、地域の医療機関、介護・福祉施設、行政機関をはじめ関係各位の皆様には心より敬意を表すとともに厚く御礼申しあげます。

この奥州地域でも患者さんの高齢化や一人暮らし、さらに身寄りのない方が増加しており、医療ニーズの多様化、医療・介護人材の確保など多くの課題に直面しています。その中で、患者さんが住み慣れた地域で安心して必要な医療や介護を受け続けられるようにするためには、それぞれの機関が専門性を発揮しながら、相互に信頼し、切れ目のない連携を築いていくことがこれまで以上に重要であると考えています。

地域医療福祉連携室は、紹介・逆紹介の円滑な調整をはじめ、退院支援や在宅療養への移行支援、医療・介護・福祉に関わる相談支援など、地域と病院をつなぐ「架け橋」としての役割を担っています。私たちは、患者さんやご家族にとって最善の支援を実現するため、関係機関の皆様との対話を大切にし、迅速で丁寧な対応に努めるとともに、皆様から安心してご相談いただける連携室を目指してまいります。

また、この広報誌を通して、当院の診療体制や各診療科・部門の取り組み、地域連携に関する情報などをお伝えし、皆様の日々の業務に少しでもお役立ていただければ幸いです。情報発信に加え、皆様からのご意見やご要望にも真摯に受け止め、より円滑で質の高い連携体制の構築に取り組んでまいります。顔の見える関係づくりを大切にし、日頃の情報共有や意見交換を通じて、地域全体で患者さんを支える体制づくりに微力ながら貢献したいと考えています。

今後も、地域の医療・介護・福祉を支える皆様との連携をより一層深め、信頼される地域医療福祉連携室を目指して職員一同努めてまいります。引き続き、ご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岩手県立胆沢病院　基本理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

地域で受けられる

ロボット支援下消化器外科手術について



外科長兼消化器外科長　成田 知宏

近年、消化器外科の手術は大きく変わってきています。

以前はお腹を大きく切る開腹手術が中心でしたが、その後、傷の小さい腹腔鏡手術が広まり、現在ではロボット支援下手術も行われるようになりました。ロボット支援下手術は、患者さんの体への負担をできるだけ少なくするための手術方法の1つです。

日本では、2000年頃からロボット支援下手術が導入されました。消化器外科の分野では、2018年に保険診療で行える手術が増えたことをきっかけに普及が進みました。さらに2022年以降は、大腸がんの手術を中心に件数が増えており、現在では、特別な手術ではなく、標準的な治療の1つになりつつあります。



ガイドライン上で推奨されるロボット支援下手術

大腸がんは、日本で最も多いがんです。現在では、国民のおよそ10人に１人が大腸がんにかかるとされています。大腸がんに対するロボット支援下手術は、治療の指針であるガイドラインでも勧められている手術方法として位置づけられています。特に直腸がんでは、骨盤の奥深くという狭い場所で手術を行うため、ロボットの特徴が生かされやすいとされています。

ロボット支援下手術の特徴

ロボット支援下手術では、医師が手術支援ロボットを操作して手術を行います。ロボットが自動で手術をするのではありません。医師が鮮明な３Ｄ画像を見ながら、手ぶれの少ない細かな操作を行うことができます。また、人の手首のように自由に動く器具を使うことで、狭い場所でも丁寧な手術が可能になります。術者の体への負担が少ないことも、安定した手術につながる利点の一つです。

ロボット支援下手術のチーム体制

ロボット支援下手術を安全に行うためには、専用の機器だけでなく、手術に関わる医師、看護師、臨床工学技士などのチーム体制が必要です。また、機器の導入や維持には大きな費用もかかります。そのため、今後は身近な病院で診察や術後のフォローを受けながら、手術そのものは専門施設で受けるという体制がさらに進んでいくと考えられます。

岩手県における現状



岩手県では、現在、手術支援ロボットが4施設で6台稼働しています。そのうち5台は盛岡圏域に集中しており、盛岡圏域以外では当院のみが手術支援ロボットを有しています。

そのため岩手県南地域においてロボット支援下手術を提供するうえで、当院の果たす役割は大きいと考えています。

100件を超えるロボット支援下手術の見込み

当院消化器外科では、大腸がんおよび胃がんを対象として、2022年からロボット支援下手術を開始しました。

2024年12月には新しい機種へ更新し、その後、手術件数はさらに増加しています。本年は100件を超えるロボット支援下手術を見込んでいます。

これからも地域の皆さまに体への負担が少なく、質の高い外科治療を提供できるよう、安全性を最も大切にしながら、スタッフ一同研鑽を重ねてまいります。

対象となる患者さんがおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



第３回医療情報コーナーイベントのお知らせ

「がん薬物療法」

がんの薬物療法は、がんを治したり、がんの進行を抑えたり、がんによる症状を緩和したりすることを目的として行います。

がんの薬物療法について、当院の医師・薬剤師が分かりやすく講演します。

【開催日時】令和8年10月28日（水）14時～15時

【講　　師】血液内科長　吉田　こず恵

（日本臨床腫瘍学会　がん薬物専門医･指導医）

主査薬剤師　城戸　直人

（日本臨床腫瘍薬物学会　外来がん治療専門薬剤師）

【場　　所】岩手県立胆沢病院 ヘリポート会議室

【そ の 他】申込不要、参加費は無料です。



病院正面駐車場の西側にヘリポートがあり、
その1階に会場となる会議室がございます。

【問合せ先】平日９時～17時　地域医療福祉連携室　TEL：0197-24-4121（代表）

出前医療講演のご案内

〈身近な医療のことについて、医療スタッフが出張してお話しします〉

胆沢病院では、地域の医療を担う病院として、訪れる患者さんを診るだけでなく、地域に赴き、地域住民のみなさんが医療や健康に関心を寄せ、地域医療への理解を深めていただくことを目的にお伺いします。どうぞお気軽にご利用ください。

講演テーマ等、詳細は当院ホームページをご覧ください。

こちらから
ご覧いただけます

▼奥州市・金ケ崎町に在住、在勤または在学する10人以上の者で構成された団体等で、受講者数が概ね10人以上で申込みをお願いします。

▼栄利を目的とした講演の派遣や、会社組織からの研修依頼は受付けておりません。

お盆期間中の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当直医師による救急診療体制となります。

8月13日(木) ～ 8月16日(日)

※救急受診の際は、電話にてお問い合わせください。
岩手県立胆沢病院（代表）０１９７－２４－４１２１